

日白修好150周年記念シンポジウム

Symposium Commemorating the 150th Anniversary of
Japan-Belgium Diplomatic and Friendship Relations

文化・知の多層性
と

越境性へのまなざし

Reflections on Multi-layered Culture and Cross-boundary Creativity

学際的交流と

「ベルギー学」の

構築も目指して

Towards Academic Exchange and the Establishment of "Belgian Studies"

日 時：2016年12月10日(土) 13:00~17:50 / 12月11日(日) 10:00~18:00

D A T E：10th & 11th December, 2016

会 場：東京理科大学神楽坂キャンパス富士見校舎（4階・5階）

LOCATION：Tokyo University of Science, Kagurazaka Campus, Fujimi Building

主 催：日白修好150周年記念シンポジウム実行委員会

Organizer：Executive Committee of the Symposium (JB150Sympo)

Website：www.jb150sympo.org



日白修好150周年記念シンポジウム

Symposium Commemorating the 150th Anniversary of
Japan-Belgium Diplomatic and Friendship Relations

文化・知の多層性と越境性へのまなざし

Reflections on Multi-layered Culture and Cross-boundary Creativity

学際的交流と「ベルギー学」の構築を目指して

Towards Academic Exchange and the Establishment of "Belgian Studies"

趣旨

1866年8月1日（慶応2年6月21日）、日本はベルギーと修好通商航海条約を締結しました。これは日本が幕末に西洋諸国と結んだ9番目の条約でした。その後、一時期の不幸な期間を除いて、両国は常に良好な関係を保ち、文化的・経済的な人的交流が続けられてきました。そして、今年2016（平成28）年、めでたく修好150周年を迎えます。

そこで、この記念すべき日白修好150周年の年に、日本とベルギー両国間に分野を超えた人的交流を促進し、両国間の相互理解のさらなる深化、「ベルギー学」の構築による日本におけるベルギー理解のさらなる向上に寄与することを目指して2016年12月に国際シンポジウムを開催いたします。

INTRODUCTION

On 1st August, 1866, Japan concluded the Treaty of Friendship, Commerce and Navigation, with the Kingdom of Belgium. This was the ninth treaty with a Western country to be concluded at the end of the Edo period. Except for a short period of minor disagreements, Japan and Belgium have always kept a friendly relationship since the establishment of formal diplomatic relations, and have maintained cultural, economic and personal exchanges. The year 2016 will be the 150th anniversary of the friendship relations. In this commemorative year, the Executive Committee of the Symposium Commemorating the 150th Anniversary of Japan-Belgium Diplomatic and Friendship Relations will hold an international symposium with the aim of encouraging further exchanges between both countries, building a basis for "Belgian Studies" and improving a further understanding of Belgium in Japan.

PROGRAM

(DAY 1) 2016.12.10 (SAT.)

- 12:30 開場
Doors Open
- 13:00-14:00 開会セッション
Opening Session
- 14:00-14:50 基調講演①
Keynote Lecture ①

「日本の歴史に於けるベルギー像の多重性」 The Multi-layered Meaning of Belgium in Japanese History

ウィリーF・ヴァンドゥワラ
Willy F. VANDE WALLE
ルーヴァン・カトリック大学(KUL) 名誉教授
Professor Emeritus, Katholieke Universiteit Leuven

- 14:50-15:30 基調講演②
Keynote Lecture ②

「ピーテル・ブリューゲルの 《ネーデルラントの諺》と近世日本の諺画との比較」 Pieter Bruegel the Elder's *Netherlandish Proverbs* Compared to Similar Proverbs in Traditional Japanese Art

森 洋子
MORI Yoko
明治大学 名誉教授・ベルギー王立考古学アカデミー 外国人会員
Professor Emerita, Meiji University
Foreign associate, Royal Academy of Archaeology of Belgium

- 15:30-15:50 休憩
Break
- 15:50-17:50 分科会 ①
Session ①
- 18:00-20:00 懇親会（会費制）
Get-together

(DAY 2) 2016.12.11 (SUN.)

- 09:30 開場
Doors Open
- 10:00-12:00 分科会 ②
Session ②
- 12:00-13:30 昼食
Lunch Break
- 13:30-15:30 分科会 ③
Session ③
- 15:30-15:50 休憩
Break
- 15:50-17:50 パネルディスカッション
Panel Discussion

「ベルギー学の創出： 文化の多層性と越境する知の創造力」 Inauguration of Belgian Studies : Multi-layered Culture and Cross-Boundary Creativity

パネリスト

Panelists
北原 和夫（東京理科大学 教授）
KITAHARA Kazuo (Professor, Tokyo University of Science)
岩本 和子（神戸大学 教授）
IWAMOTO Kazuko (Professor, Kobe University)
高木 陽子（文化学園大学 教授）
TAKAGI Yoko (Professor, Bunka Gakuen University)
ディミトリ・ヴァノヴェルベケ
Dimitri VANOVERBEKE
（ルーヴァン・カトリック大学(KUL) 教授）
Professor, Katholieke Universiteit Leuven

司会：武居 一正（福岡大学 教授）
Chair: TAKESUE Kazumasa (Professor, Fukuoka University)

- 17:50-18:00 閉会挨拶
Closing Remarks

分科会 SESSION ①
(2016.12.10, 15:50-17:50)

時間	司会	A	B	C	D	E
15:50-16:20	鈴木 義孝 関西大学	コマーシャル・ミュージアムにみる明治期の日白関係 三宅 拓也 京都工芸繊維大学	低地地方（ベルギー・オランダ）が欧州統合に果たした歴史的役割 奥西 孝至 神戸大学	ローデンバックと日本 村松 定史 元名城大学	初期ネーデルラント絵画の「豊かな世界」 荒木 成子 清泉女子大学名誉教授	日本再富教とベルギー人神父・キリスト教美術の観点から 蜷川 順子 関西大学
16:20-16:50		日本における高等商業教育の導入とベルギー 大槻 忠史 群馬大学	ヨーロッパ統合とベルギー政治 正林 朝香 京都産業大学	ローデンバックの写真小説 塚本 昌則 東京大学	La peinture flamande du XVIe siècle, un phénomène international (通訳つき)	姉妹都市提携にみる日白交流の展開とその意義 井内 千紗 国際短期大学
16:50-17:20		日白修好通商航海条約に関する歴史社会言語学的考察 石部 尚登 日本大学	ブリュッセル学 何がブリュッセルのか 小川 秀樹 千葉大学	翻訳・再話の中で失われたものー日本におけるモリス・マーテルリンク『青い鳥』の新たな解釈の可能性を探るー 内田 智秀 名城大学		越境する日本とベルギー：グローバルファッション史を変えた二つの小さな国家 高木 陽子 文化学園大学
17:20-17:50			ベルギーにおける移民政策の展開 中條 健志 大阪市立大学	フランドル地域における子どもの本ー『フランダースの犬』だけではなくー 野坂 悦子 翻訳家・作家	Didier MARTENS Université libre de Bruxelles	

分科会 SESSION ②
(2016.12.11, 10:00-12:00)

時間	司会	A	B	C	D	E
10:00-10:30	大久保 信行 中央大学	タミアン神父と後藤昌直医師：ハンセン病に立ち向かった二人 湯地 晃一郎 東京大学医科学研究所	日白修好150周年の法学史ー日白修好通商航海条約から日欧EPAまで 牛嶋 仁 中央大学	精神科医のSF小説ーステファヌ・オータンことエチエンヌ・ド・グレーフによる知の越境の軌跡ー 梅澤 礼 立命館大学	転用と独創のあわいで：ヤン・ファン・エイク作《ロランの聖母》について 佐藤 龍一郎 東京大学	都市圏外への移住経験を聞き取るーブリュッセルの郊外化・逆都市化過程から 山口 博史 都留文科大
10:30-11:00		昭和天皇の生物学ご研究を通じたベルギーとのお交流 並河 洋 国立科学博物館	失われた民主主義への道：明治日本の司法制度の近代化における小国ベルギーの影響 ディミトリ・ヴァノーヴェルベケル・ヴァン・カトリック大学 (KU Leuven)	アンリ・ミショーと「ベルギー性」 田母神 顯二郎 明治大学	メルボルンのヴィクトリア国立美術館蔵「キリストの奇蹟の祭壇画」ー図像解釈と制作年代ー 平岡 洋子 明治学院大学	ベルギーの田園都市 平岡 直樹 九州大学
11:00-11:30		印刷革命がはじまったーブランドン=モレットゥス博物館との交流を通して 中西 保仁 印刷博物館		小説家トゥーサンと日本の緊密な絆 吉村 和明 上智大学	ルネ・マグリットの《迷子の騎手》（1926年）における墓地の記憶 吹田 映子 筑波大学	ベルギーにおける生涯学習の実態、貧困層のための言語教育を中心に ルート・ヴァンバーレン 筑波大学 ジョナサン・ハリソン 日本大学
11:30-12:00		Innovation through the Digitization of Design and Manufacturing Wim DESMET Katholieke Universiteit Leuven				ベルギーの芸術家村におけるルーラル・ジェントリフィケーションーセント・マルティンス・ラテムを事例としてー 飯塚 遼 秀明大学

分科会 SESSION ③
(2016.12.11, 13:30-15:30)

時間	司会	A	B	C	D	E
13:30-14:00	大久保 信行 中央大学	メルカトルとオルテリウスの地図と地図帳にみる日本との関わり 島津 俊之 和歌山大学	国家改革における憲法裁判所の役割 武居 一正 福岡大学	La Circulation internationale des écrivains belges francophones (通訳つき) 16	ヴァン・デ・ヴェルデと「アール・ヌーヴォー」の初期思想ーフランスとの関係からー 白田 由樹 大阪市立大学	*予稿集の入手方法 How to Obtain the Preprint シンポジウムウェブサイトよりダウンロードいただけます（11月下旬発行予定）。当日は印刷版も販売しません（要事前予約）。 Downloadable from the symposium website (as from late November). The printed version can be purchased at the symposium (reservation required).
14:00-14:30		今こそ、ベルギービールに学ぶ 渡 淳二 サッポロホールディングス株式会社	ベルギーにおける立憲君主制の意義と可能性 矢島 基美 上智大学	Paul ARON Université libre de Bruxelles	日本美術とベルギーのアール・ヌーヴォーブリュッセル・リヴモン・ポストー作品に見るハイブリディティーについて トゥーレン・サスキア 文化学園大学	
14:30-15:00		ベルギーとカリヨン 田村 統三 元株式会社カリヨン・センター	公文書館から見た「民主主義」の今ーベルギーと日本ー 笹川 武 内閣府	Japan as a «Striking of a Gong» for the Early Belgian Literary Avant-garde (around 1870) Clara SADOUN-EDOUARD Université libre de Bruxelles/Kobe College	コンスタンタン・ムーニエと日本 迫内 祐司 小杉放電記念日光美術館	
15:00-15:30			合意型デモクラシーとしてのベルギー政治 津田 由美子 関西大学		19世紀ベルギーにおけるアジア楽器の収集と展示 大迫 知佳子 広島文化学園大学	

<参加申込：REGISTRATION>

下記ウェブサイトの申し込み専用フォームより
お申し込みください。

(事前申込締切：2016年12月2日)

Please fill in the registration form at : www.jb150sympo.org
(Registration due date: 2016.12.2)

www.jb150sympo.org



<お問い合わせ：INQUIRY>

日白修好150周年記念シンポジウム実行委員会事務局
Executive Committee of the Symposium (JB150Sympo)

mail@jb150sympo.org

<会場のご案内：LOCATION>

東京理科大学神楽坂キャンパス富士見校舎 (4階・5階)

(東京都千代田区富士見1-11-2)

Tokyo University of Science, Kagurazaka Campus, Fujimi Building (4-5F)
(1-11-2, Fujimi, Chiyoda-ku, Tokyo)

<アクセス：ACCESS>

■東京メトロ半蔵門線、東西線、都営新宿線「九段下」駅下車、徒歩8分

Take Tokyo Metro Hanzomon Line, Tozai Line, or Toei Shinjuku Line to “Kudanshita” Station,
Campus located 8 minutes’ walk from the station

■JR総武線、東京メトロ有楽町線、東西線、南北線、都営大江戸線「飯田橋」駅下車、徒歩10分

Take JR Sobu Line, Tokyo Metro Yurakucho Line, Tozai Line, Nanboku Line, or Toei Oedo Line to “Iidabashi” Station,
Campus located 10 minutes’ walk from the station

主 催：日白修好150周年記念シンポジウム実行委員会

Organizer : Executive Committee of the Symposium (JB150Sympo)

共 催：日本ベルギー学会、ベルギー研究会、東京理科大学

Co-organizer : Belgium-Japan Academic Society, Japanese Association for Belgian Studies, Tokyo University of Science

協 力：在日ベルギー王国大使館、日本・ベルギー協会、ブリュッセル研究所

Sponsor : Embassy of Belgium in Tokyo, The Japan-Belgium Society, Tokyo Bruegel Research Institute

後 援：フランダースセンター、ベルギー観光局ワロン・ブリュッセル、ワロン地域政府貿易・外国投資振興庁、ネーデルラント美術研究会

Supporter : Flanders Center, Belgian Tourist Office Wallonia-Brussels, Wallonia Export-Investment Agency, The Netherlandish Art Studies Group